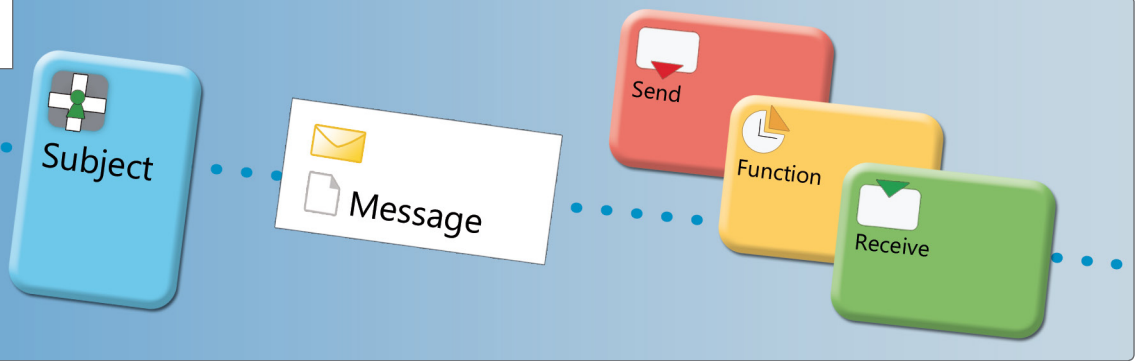


METASONIC
FLOW

プロセスモデルをそのまま実行

高度な機敏性、確かなコンプライアンス、早期のROI

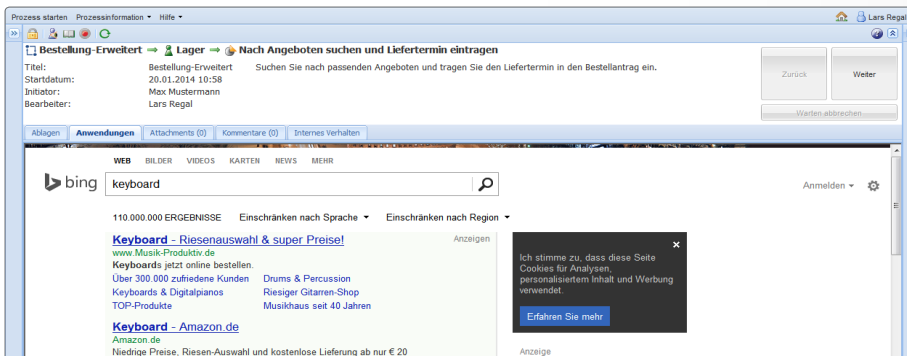
サブジェクト指向BPM(Subject-oriented BPM)の思想に基づいた唯一のプロセスマネジメントツールであるMetasonic Suiteの中で、業務担当者が業務で使う実行環境を担当するのがMetasonic®Flowです。S-BPMを使うと直ちに実行できるビジネスプロセスができあがり、Metasonic Flowを利用することによりビジネスプロセスの記述から実行可能なワークフローの作成を自動的に行います。つまり、1行のプログラムも書くことなく、業務担当者自ら、自分たちで描いたプロセスモデルを直ちに実行することができます。

簡単で誰にもわかるプロセスコントロール

プロセスポータルへログオン(シングルサインオン)したユーザはいつでも、作業待ちのプロセスや実行しなければならない作業など、わかりやすい形で一覧できます。作業を行うために必要な情報、ドキュメン

ト、ITシステムは必要なときにそのポータル上に示され、それはどんなプラットフォーム上のITシステムやWebアプリケーションも同様です。Metasonic® Flowは専門家だけがわかる記号やイメージで動くわけではなく、わかりやすい形で社員のプロセスをリードしてくれます。

新たなプロセス、プロセスの改善提案や変更は、革新的なS-BPMによって、それぞれの業務部門で簡単に素早く行うことができ、システムの運用開始後であってもクリック一つでポータルにロードし、それらのプロセスを直ちに利用できます。業務部門自身がプロセスの追加、変更を行うため、IT部門はこうしたタスクから解放され、ビジネスイネーブラーとしてシームレスなITインフラ機能を提供することにフォーカスできます。これはIT部門、業務部門、全ての部門がMetasonicという一つの言語、一つのプロセスモデルだけで話を通じるからです。



作業を行うために必要な情報、ドキュメント、ITシステムなどは、Metasonic Flowの中で利用できます。

*Metasonic Suiteは、Metasonic Base、Build、Proof、Flowから構成されます。

ADVANTAGES:

- 各社員は自分の作業を確認し、プロセスをとおりてわかりやすくリードされます。
- 各自の権限や責任を明確に定義できます。
- さまざまなITプラットフォーム上で実行できます。
- 全作業はRSSやインターネットブラウザに表示できます。また、Outlookに統合することもできます。
- 重要なプロセスのタイムアウトはアラームを設定できます。
- モデリング段階からコンプライアンスをプロセスに組み込み、業務を遂行できます(アクティブ・コンプライアンス)。
- コミュニケーションフローが整理され、非常にわかりやすいので、社員のモチベーションが向上します。



BENEFITS:

- ・ わかりやすく簡単なツールなので、社員は継続改善への自信と意欲をもって取り組むことができます。
- ・ 全てのプロセスステップの担当者を明確に記述できます(プロセスモデル=ドキュメンテーション)。
- ・ 非常に速く、リアルタイムで、実際の業務をプロセスモデルへ適用したり、変更できます。
- ・ 作業する場が限定されない柔軟なワークスタイルを実現します。
- ・ 高いプロセス品質が保障されます。
- ・ プロセス自体がコンプライアンスそのものであり、全てのルールや条件への厳密な順守が保障されます。
- ・ 機敏性が増し、変更へのより速い対応が可能です。
- ・ 時間とコストを大きく節約できます。

動的なデータの管理

Metasonic® Flowには「BO(ビジネスオブジェクト)」が統合されています。これはプロセスの中で使われるデータを格納したり、外部データベースと接続するために使われます。優れた特徴：BOはビジネスロジック、データ構造、そしてユーザの使うレイアウトを明確に分離することで、データを動的に活用できます。つまり、ある固定の値だけでなく、値によってプロセスやルーティングを動的に変更し、ビジネスニーズに沿った多様なモデルを構築できます。効果：変更時の高い柔軟性と早い対応が可能です。

リアルタイムのコラボレーション

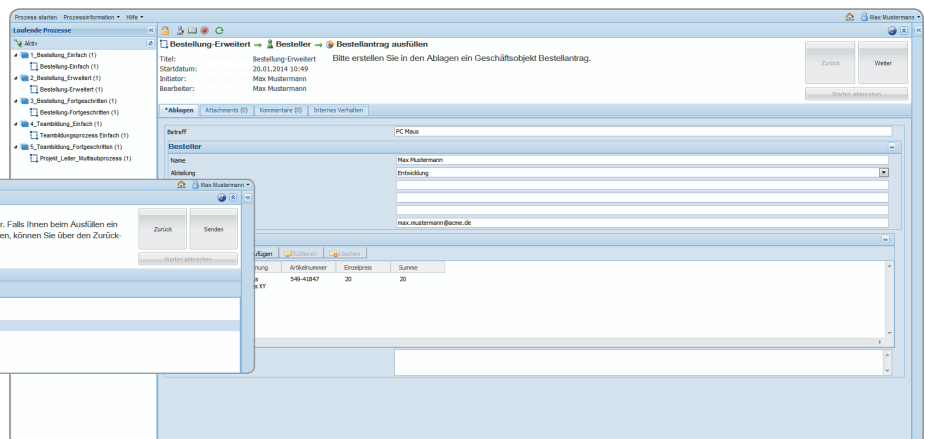
Metasonic® Build (Metasonic Suiteのモデリングツール)でプロセスモデルが作られると、Metasonic Proof (Metasonic Suiteの検証ツール)でモデル内容を業務部門自身でインタラクティブに検証でき、Metasonic Proofで検証されたモデリング内容はMetasonic Flowプロセスポータルへロードすることで、実行できるようになります。WebサービスやWebロボットを使って検出したITサービスはフォームテクノロジーを使って、既存のIT環境の中に統合されます。Metasonic Flowへ直接アクセスしない人たちもビジネスプロセスにリンクされます。eメールを利用してあらゆる種類のスマートフォンにも接続でき、インターネットブラウザ上のプロセスポータルをと必要とする全ての情報をシームレスに遅滞なく交換できます。

自分でやろう!

業務が増えたり、プロセスの変更が必要になったら、Metasonic® Buildを使って担当者自身でプロセスモデルの作成や変更後、そのプロセスモデルは、そのまま実行することができます。従来型のワークフローシステムではプロセスモデルを描いて実行に移すには高価なプログラミングが必要ですが、Metasonicではそれは不要です。Metasonic® Flowのインターフェースは仕事を簡単にするためのさまざまなコンポーネントが準備されています。これらのコンポーネントは、ユーザ自身で自由にカスタマイズすることができます。

明確な構造と責任分担

プロセスマネジメントの機能を使ってさまざまな承認レベルをそれぞれの社員にセットできるので、社員は参照権限を与えられているプロセスのみを見たり、起動することができます。既に開始されたプロセスでは、自分が担当する作業に集中し直ちに完了することができます。ユーザ、ロール、ロールの属性(ログイン情報など)、それらのアサインを行うセンター管理にはLDAPベースのユーザマネージャが提供されます。プロセスの関係者(サブジェクト)はロールを割り当てられ、ロールには組織や組織の中の社員グループ情報が割り当てられます。



Metasonic® Flow: BO入力画面 (サンプル: 注文申請書)

記入が完了した注文申請書は自動的に担当者の手元に届きます。